

令和 6 年 6 月 17 日現在

機関番号：32658

研究種目：基盤研究(A)（一般）

研究期間：2018～2022

課題番号：18H03965

研究課題名（和文）農村コミュニティ・ベース・ツーリズムの新展開とソーシャル・インパクト

研究課題名（英文）Evidence-supported Rural Community-based Tourism and Social Impact

研究代表者

大江 靖雄（Ohe, Yasuo）

東京農業大学・国際食料情報学部・教授

研究者番号：60302535

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 26,800,000円

研究成果の概要（和文）：本研究課題では、その重要性は高いものの本格的な研究蓄積が十分なされていない農村コミュニティベース・ツーリズムの分野に焦点を当て、理論的・実証的な研究を行いその成果を英文書籍および論文として刊行した。1. コミュニティ・ベース農村ツーリズムのミクロ経済学で理論的フレームワークを構築し、計量経済学およびケーススタディにより、アントレプレナーシップとの関連性や課題を解明した。2. 地域振興でアニメの聖地としてのコンテンツ・ツーリズムに関する地元民のその効果についての評価を秩父市を対象に現地調査結果のデータから計量的評価を行った結果、一過性の経済効果のみならず長期的な効果も感じていることを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

これまで経済学的な観点からの分析が十分行われていない我が国コミュニティ・ベースな農村ツーリズムを対象として、持続的なその発展に不可欠な条件であるアントレプレナーシップとの関連性から、理論的および計量的及びケーススタディによる実証的研究を行い、英文書籍や論文として刊行した点に、その先駆性がある。コミュニティ・ベースな農村ツーリズムの取り組みは、世界的にも関心が高く、上記の研究成果により、この分野の発展に大きな貢献を行ったと評価できる。

また、海外発信が少ない我が国農村ツーリズムの研究成果を、英文成果で行ったことは、海外からの我が国農村ツーリズムへの関心を高める上で、もう一つの重要な貢献といえる。

研究成果の概要（英文）：In this research project, we focus on the field of community-based rural tourism, which is highly important but lacks sufficient accumulation of comprehensive research. We conduct theoretical and empirical studies and publish the results as English-language books and papers.

We constructed a theoretical framework of community-based rural tourism from the perspective of microeconomics and elucidate the relevance and challenges through econometrics and case studies, particularly in relation to entrepreneurship.

We evaluated the effects of content tourism as a "sacred place" of anime in regional revitalization, based on local surveys conducted in Chichibu City. Through quantitative analysis of on-site survey data, we revealed not only transient economic effects but also long-term impacts.

研究分野：農村ツーリズム

キーワード：農村ツーリズム 農業経営多角化 アグリツーリズム 農泊 農業の多面的機能

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

- 1) 次世代型の農村ツーリズムの発展が求められている。特に期待されるその WB 機能のエビデンス解明には、学際的な研究が必要不可欠で単一研究分野の壁を破る必要がある。
- 2) 農村ツーリズムの経済分析に関しては、大江の一連の成果(業績 No. 1-3, 5, 6, 10, 13, 14, 19, 20, 25-27, 35, 36, 42-45)で、理論的・実証的な普遍性が国際的にも高く評価され、この分野の理論と実証両面の開拓者として評価されている(内外で受賞: 6 頁参照)。
- 3) しかし、その解明は農業経済学の社会科学分野という単一分野での研究に止まっていた。
- 4) 海外においても状況は同様で、農村ツーリズムに関する研究は、爆発的に増加しているものの、単一社会科学分野で観光者の主観的評価のみに終始している(Komppula,2010)。
- 5) そこで、ブレークスルーをはかるため、森林セラピーツーリズム参加者を対象に生理的・主観的効果を自然科学者(自然人類学)と共同で、世界で初めてその効果を学際的に解明したが、まだ初期的な解明の段階にとどまっている(Ohe et al, 2017: 業績 No.1)。
- 6) その先駆的研究の成果から、心身健康増進機能の学際的科学的エビデンスが農村ツーリズムの新たな展開の引き金になるとの着想と確信を得て、世界的にも未解明な WB 機能として総合的に解明し、そのソーシャル・インパクトの評価を行い、新たな農村コミュニティ・ビジネスモデル構築につなげる学際的研究の必要があるとの認識に至った。

2. 研究の目的

- 1) 本研究の最大の目的は、これまで未解明な農村 WB 機能の科学的エビデンスを学際的チームで総合的に解明し、次世代型農村コミュニティ・ビジネスのソーシャル・インパクトを評価し、新型農村ビジネスに関する研究分野の国際的主導権を確立することである。
- 2) そのため第 1 に、WB 機能の構成要素として生理的・心理的効果(1 次効果)、経営的・経済的・社会的効果(2 次効果)について、各専門分野で分担連携して解明する。
- 3) 第 2 に、WB 機能の 1 次効果に対する利用者の満足度、需要特性・構造を即時性と位置特定に優れたスマート技術を活用し計量的に解明して、これらをオペレーショナルなデータとしてマーケティング手法の有効性を検証して、WB ツーリズムの骨格を提示する。
- 4) 第 3 に、1 次効果や需要構造のエビデンスを基に、次世代型農村 WB コミュニティ・ベース・ツーリズムの経営及び地域間経済モデルによりソーシャル・インパクトを解明する。

3. 研究の方法

- 1) コミュニティ・ベースな農村ツーリズムの体系化をはかるため、ミクロ経済学の理論的な枠組みの構築と計量的およびケーススタディによる実証分析を行う。
- 2) オンラインビジネスがコロナ禍で急速に進んだことから、農泊 OTA の分析を行ない、供給サイドの web 上での情報と需要サイドのオンライン口コミの評価との関連性を、計量的なモデルとテキスト分析により解明する。
- 3) コロナ禍の農泊経営へのインパクトをアンケート調査や利用可能なデータを用いて実証的に評価する。
- 4) 首都圏在住の稲刈り作業のポラティアグループに、生活満足度と仕事満足度および仕事のストレスレベルに関するアンケート調査結果を実施して、上記 3 者の関連性について、実証的に学際的グループで調査分析する。
- 5) 地域資源を活用した観光活動として、注目を集めている酒蔵ツーリズムの経営者 h のアンケート調査を行い、経営成果や酒蔵ツーリズム、コロナ禍での対応や経営状況について、経営的な要因や意識との関連性を分析する。

4. 研究成果

- 1) 「コミュニティ・ベース農村ツーリズムとアントレプレナーシップ」に関するテーマに関して、ミクロ経済学的な分析を行った成果を取りまとめて、世界で初めて刊行した(Ohe, Y. (2020) Community-based Rural Tourism and Entrepreneurship: A Microeconomic Approach. Singapore: Springer.本成果は、我が国の農村ツーリズムの特徴であるコミュニティ・ベースな取り組みの伝統と特徴を踏まえて、その理論的フレームワ

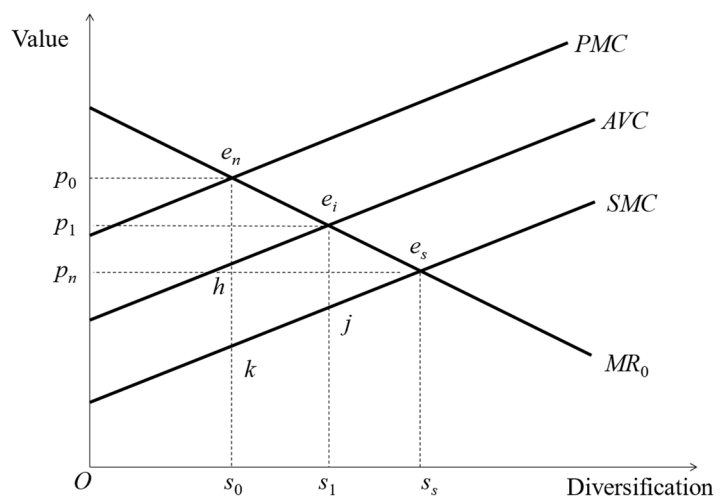


図1 外部性の内部化のプロセス

ークをミクロ経済学で構築するとともに(図 1)、計量的およびケーススタディを組み合わせた成果で、デジタル・コミュニティの進展に合わせて、伝統的な農村コミュニティから、より拡大するコミュニティで構成される重層的なコミュニティの機能を踏まえている点に新規性が認められる(Ohe, 2020)。

2) コロナ禍で OTA (online travel agent) の拡大がさらに拡大していることから、農泊プラットフォームにおける農泊の宿泊価格を規定する経営的な要因分析を行った。農泊価格の価格決定モデル分析により、地域固有の食文化の体験や、地域産品の存在、体験サービスの実施により農泊の価値が高まることが判明した(表 1)。このことから地域にこだわりをもった料理や体験メニュー、産品を開発し、それを生かした宿泊プランを作ることが効果的と指摘できる。また、共起ネットワーク分析より、宿泊価格の上位・下位 15 組における施設の紹介文を対象に分析した。料金水準の下位 15 組には明確なつながりが見られないことに対し、上位 15 組には、食事に関するワードで強いつながりが見られた。「楽しむ」という表現が中心に現れていることも特徴的であり、食事のある種の体験的位置づけをしていることが明らかとなった(田中・大江, 2022)。

表 1 農泊価格決定モデルの計測結果

被説明変数：一人あたりの平日料金の対数				
カテゴリー	説明変数	パラメータ	有意水準	VIF 値
経営的要因	法人(yes=1,no=0)	0.2713 (5.35)	***	1.28
	ウェブサイト掲載情報量の充実さ(1~3)	0.1273 (2.22)	**	1.07
	家族向け(yes=1,no=0)	-0.1507 (-2.55)	**	1.04
農的サービス要因	農業体験(yes=1,no=0)	0.1659 (2.60)	**	1.25
	郷土料理(yes=1,no=0)	0.1133 (2.30)	**	1.09
地域的要因	街に関する受賞歴(yes=1,no=0)	0.1313 (2.83)	***	1.03
	定数項	8.6390 (59.90)	***	-
自由度修正済み決定係数：0.3805 Breusch-Pagan/Cook-Weisberg test カイ二乗値 28.05***				

注：1) \*\*\*, \*\* はそれぞれ 1% 有意, 5% 有意を表す。

2) モデルの計測方法は、OLS による。標準推定結果で分散不均一性が検出されたため、ロバスト推定を採用した。

3) パラメータの( )内はロバスト推定による t 値を表す。

3) コロナ禍での酒蔵経営者へのオンラインアンケート調査結果に基づき、コロナ禍の経営的影響とその違いに作用する経営的要因の解析を計量的に行った。その結果、コロナ禍による売上げ減少要因分析モデル(客観的指標)と、取り組み自己評価要因分析モデル(主観的指標)という 2 つのモデルで分析した。売上げの減少の要因については、海外の商社やパイヤーを販路としている酒蔵と販売先の確保を一番大きな課題としている酒蔵は、売上げの減少を被っている。他方で 720 ml や 1.8 l 瓶の売上評価が良い酒蔵は、全体での売上げ減少への対応に効果的であった。特に 720 ml の方で有意な結果を得られたことは、コロナ禍で家庭内飲酒が一般的になり、少人数で消費できるため、全体の売上に大きく影響をもたらしたと考えられる。コロナ禍への取り組みへの自己評価に関しては、企業の強みとして製品開発力や、戦略としてコロナ禍で既存商品・サービスのリニューアルを積極的に行った酒蔵は良好な経営対応評価に繋がっていることが判明した(齊藤・大江, 2023)。

4) 農泊における OTA 利用者の増加に伴い、利用者の評価についての確な把握が経営上重要性を増している。そこで、農泊 OTA の宿泊者のオンライン評価 (e 口コミ = eWOM) を収集して、共起ネットワークを求めてテキスト分析し、宿泊者が重要視しているキーワード間の関係性と評価の違いに作用する要因をロジット分析により解析した。その結果、ロジット分析から清潔さや対応の良さ、コストパフォーマンスの高さが宿泊者の満足度を上げる要因となっていることが判明した。また、テキスト分析からは、ホストが丁寧な対応をすることで滞在中の快適さを保ち、体験や食事などから楽しさを提供することが総合満足度を上げる要因であることが判明した(図 2)(宮川・大江, 2022)。

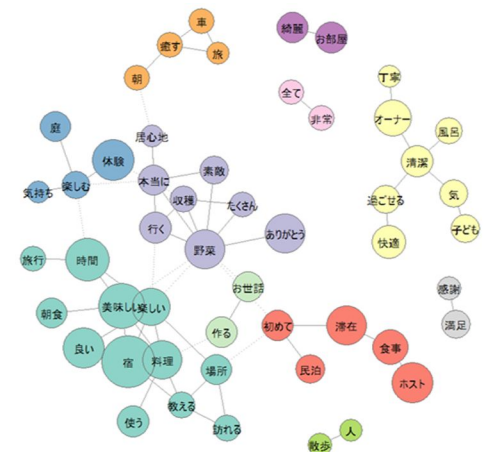


図 2 高満足度の共起ネットワーク図

5) 農家レストランは、農家所得の増大を図る 6 次産業化の役割だけでなく、ツーリズムや都市農村交流と

しても注目されている。そこで、消費者への第一印象が決まる農家レストラン名称を分析対象とし、関東地方（183件）と近畿地方（108件）を比較しながら訴求内容を明らかにした。まず KH Corder を用いたテキスト分析から 2 地域の特徴的な要因を析出し、次に名称を約 90 種類に分類し、2 値ロジットモデル分析から 2 地域の決定要因を分析した。その結果、関東地方の農家レストランは和食が主な形態であり、田舎や農地を想起させる言葉で農村への訪問ニーズを引き出し、定番の言葉や読みやすさで消費者の認知と記憶を容易にしようとしていることが判明した。これに対して、近畿地方の農家レストランは品質や清潔さをアピールし、歴史性や地域資源との連動、多種多様な料理や食材で差別化をし、顧客の関心を高めようとしていることが判明した。以上の点から、関東地方と近畿地方の農家レストラン名称の訴求内容は差異があり、近畿地方は関東地方より多様性に優れ、訴求力の高い差別化を図っているといえる（片山・大江，2023）。

6) 農村地域においても地域活性化の観点から、映画やアニメの舞台となったいわゆる「聖地巡礼」などを対象とするコンテンツツーリズムへの関心が高まっているが、一定の流行期間が過ぎるとその効果が減衰することが指摘されてきた。そこで、流行が終わった後の現地における心理的・経済的效果は十分解明されていない。そこで、首都圏農村部にあり「聖地巡礼」定番スポットである埼玉県秩父市の市民および事業者 52 名への現地聞き取り調査結果をもとに、心理的・経済的效果について順序ロジット分析と 2 値ロジット分析を行った。その結果、観光需要増加に伴う市内インフラの整備や、注目度が高くなることにより、地域への愛着の深まりなど、住民は一過性の経済効果のみならず長期的な付加価値を感じていることが明らかとなった(表 2) (堀越・大江，2023)。

表 2 コンテンツツーリズムによる地域振興への期待感の要因分析(順序ロジットモデル)

区分	被説明変数：CT による地域振興への期待感 (5 段階) 説明変数	パラメータ	Z 値	VIF
作品規模 要因	作品認知度 (鑑賞済=3, 知っている=2, 聞いたことある=1)	1.1068**	2.44	1.00
心理的 要因	コンテンツツーリズムの意義認識 (5 段階)	1.1800***	2.81	1.24
環境的 要因	コンテンツツーリズムによる景観向上への評価 (5 段階)	0.8391*	1.81	1.24
	サンプル数	52		
	擬似決定係数	0.1916		
	LR カイ二乗値	23.42***		

注：1) \*\*\*, \*\*, \*, +はそれぞれ 1%, 5%, 10%, 20% (参考値) の有意水準であることを示す。

2) 分散不均一性の検定及び VIF は最小二乗法の結果から算出した値。なお、この計測で分散不均一性が検出されなかった。

7) 農村における野生動物による農産物被害の増加にともない、ジビエとしての活用方策が提起され農村の地域資源としての活用が進められ、農村観光需要の有力な要因として期待されている。しかし、実際に都市部の飲食店でどのように利用されているのかについては今後需要喚起策の設計にとり重要であるにも関わらず、十分明らかにされていない。そこで、首都圏の飲食店を対象として、ジビエ料理の価格決定要因を解析した。データは、117 飲食店の website より収集して分析した結果、提供される料理の対応やジビエ肉の種類、飲食店の対象客層（高級化か大衆化）そしてインターネット予約システムの有無やネット口コミ（eWOM）の違いが価格決定要因として統計的に有意に作用していることが判明した。この結果から、ジビエ料理の高級化と大衆化の二つの方向性が展望される（八尾・大江・加藤，2019）。

8) 農業における教育機能を具体化した活動として酪農教育ファームがある。酪農教育ファームを実施している酪農経営では、乳製品製造販売など経営多角化も進展していることから、酪農教育ファームで乳製品製造販売を行っている酪農経営とそれを行っていない酪農経営の間で経営効率性の違いがあるのではないかとこの仮説を設けて、千葉県及び埼玉県における同酪農経営の財務データを現地調査から取得した 27 件のパネルデータを用いて Slack Based Measure DEA モデルにより計測を行った結果、多角化している酪農経営では、効率性が統計的に有意に高いことが判明した。また、酪農経営の多角化に関しては、規模の経済性についても観測されず、規模に関して中立的といえることが明らかとなった。このことから、酪農経営の持続性を高める上で経営多角化の重要性を指摘できる(Ohe, 2022)。

9) 農村における観光で道の駅の役割は小さくない。そこで、首都圏で比較的道の駅の設置が進んでいる群馬県を対象として各道の駅の業務報告書を収集して、DEA モデルにより 13 か所の道の駅の経営効率性分析を行い、その計測された効率性スコアに作用する要因について回帰分析により解析した。その結果、デイケア施設の利用サービスや wifi のサービスなど若い家族連れ客対象に使いやすい施設では、より経営効率性が高いことが判明した(図 3) (田村・大江，2019)。このことから、利用者の利便性を考慮した対応が、今後重要性を増すと考えられる。

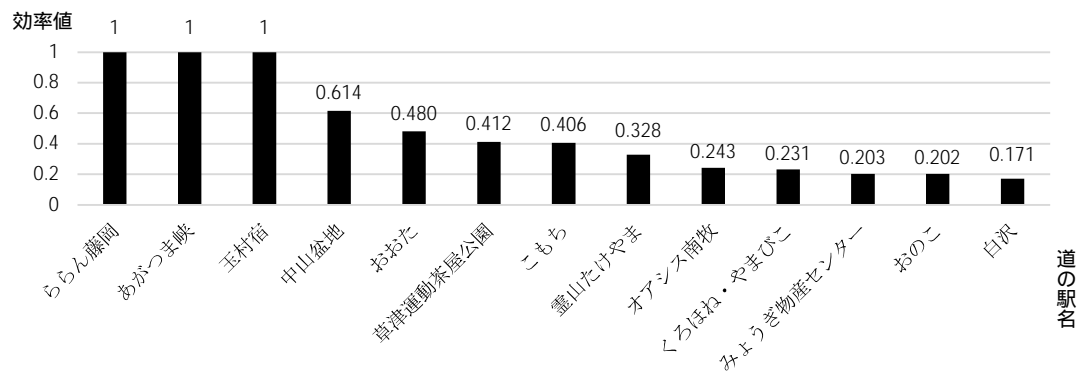


図3 CCR-0（出力指向）モデルを用いたDEA分析による効率値

10) 地域の重要な伝統的な資源である酒蔵を対象とした、酒蔵ツーリズムへの関心が高まっているものの、実際の酒蔵の経営者の意識については十分分析されていない。そこで、日本酒造組合中央会の酒蔵ツーリズムの website に掲載のメールで連絡可能な 262 件を対象としたオンラインアンケート調査を行い、85 件の回答を得て、経営状況の自己評価（2 値ロジット分析）と、酒蔵ツーリズムへの入込数（5 段階順序ロジットモデル）で解析を行った結果、大規模経営（年間生産量 300kl ~ 2000kl）では、入込数が 5000 人以上の経営では、統計的に正に有意に経営状態の自己評価に作用していた。次に、入込数の要因分析では、大規模経営では、オンライン販売、スイーツの取り扱い有り、団体客の受け入れ、地域と連携して周遊コースを設けている経営では、入込数に正に作用していた。これに対して、小規模経営では、日本酒以外の製品の取り扱い、今後酒蔵ツーリズムの拡大意向、外国人観光客受け入れ、人的・物的支援で地域貢献しているとの意識に関する要因が、入込数に有意作用しており、小規模経営ほど酒蔵ツーリズムへの期待感が強いことが明らかとなった。しかし経営成果については、十分反映されていないとの結果となり、今後酒蔵ツーリズム振興へむけて、特に小規模経営への経営者能力の向上の支援策を講じる必要があるといえる（三瓶・大江，2018）。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計56件（うち査読付論文 50件 / うち国際共著 13件 / うちオープンアクセス 44件）

1. 著者名 Issa Abrahaman Kachenje and Yasuo Ohe	4. 巻 15(1)
2. 論文標題 Assessing Locals' Perceptions on the Environmental, Economic, and Socio-Cultural Impacts of Agritourism Versus Conventional Farming in Tanzani	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental and Rural Development	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 佐藤和憲・大江靖雄・半杭真一・渋谷往男	4. 巻 37
2. 論文標題 新型コロナウイルス感染症流行による農業法人へのインパクトと経営対応	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 食農と環境	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 野々村圭造・大江靖雄	4. 巻 -
2. 論文標題 明治期における耕地整理法の全面改正の背景と意義 技術的・資源的制約による区画整理事業から灌漑排水事業への全面転換	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 農業農村工学会論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kumar Bhatta, Ram Prasad Gajurel, Toshinori Tanaka, Yasuo Ohe	4. 巻 26(3)
2. 論文標題 Profitability in Rural Restaurants and Owners' Motivation to Agritourism: A Case from Nepal	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 International Journal of Tourism Research	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jtr.2651	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hanna D. Miranda-Quibot and Yasuo Ohe	4. 巻 6(2)
2. 論文標題 The Recognition, Measurement and Disclosure of Biological Assets of Selected Agritourism Farms in Region IV-A, Philippines	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Journal of Economics, Finance and Accounting Studies	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32996/jefas.2024.6.2.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Issa Kachenje and Yasuo Ohe	4. 巻 4
2. 論文標題 Exploring the Viability of Utilizing Agricultural and Rural Areas for Tourism: A Comparative Analysis of Farming Between Conventional and Agritourism Farms during the COVID-19 Pandemic	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Journal of Academics Stand Against Poverty	6. 最初と最後の頁 58-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5281/zenodo.11080927	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 片山達貴・大江靖雄	4. 巻 64
2. 論文標題 農家レストラン名称の東西比較分析	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本観光学会誌	6. 最初と最後の頁 24-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.51059/nihonkanko.64.0_24	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 堀越聡太・大江靖雄	4. 巻 64
2. 論文標題 コンテンツツーリズムの地域社会への心理的・経済的効果 アニメ作品を舞台にした埼玉県秩父市を対象として	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本観光学会誌	6. 最初と最後の頁 33-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.51059/nihonkanko.64.0_33	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Rival Valchin, Tomohiro Uchiyama, Katsumori Hatanaka, Yasuo Ohe, Absalon Pierre, and Benedique Paul	4. 巻 14(2)
2. 論文標題 Assessing the Acceptability and the Feasibility of an Agricultural Package of Technologies for Risk Management in Southern Haiti	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Journal of Environmental and Rural Development	6. 最初と最後の頁 122-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 大江靖雄	4. 巻 835
2. 論文標題 農泊推進実行計画に見るコロナ後	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ニューカントリー	6. 最初と最後の頁 30-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 齊藤孝太郎・大江靖雄	4. 巻 61(2)
2. 論文標題 コロナ禍による酒蔵の経営対応と影響評価	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 農業経営研究	6. 最初と最後の頁 91-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11300/fmsj.61.2_91	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuo Ohe	4. 巻 13(6)
2. 論文標題 Exploring New Opportunities for Agritourism in the Post-COVID-19 Era	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Agriculture	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/agriculture13061181	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 大江靖雄	4. 巻 21
2. 論文標題 学会誌ライフサイクルからみる「総合観光研究」誌の到達点	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 総合観光研究	6. 最初と最後の頁 3-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50839/sogokanko.21.0_3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 宮川 薫・大江靖雄	4. 巻 63
2. 論文標題 農泊におけるOTA利用者の評価分析	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本観光学会誌	6. 最初と最後の頁 57-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.51059/nihonkanko.63.0_57	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大江靖雄・吉田真悟	4. 巻 60(3)
2. 論文標題 農業経営の多角化とアントレプレナーシップ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 農業経営研究	6. 最初と最後の頁 51-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11300/fmsj.60.3_51	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuo Ohe	4. 巻 2022(5)
2. 論文標題 Evidence-supported Rural Community-based Tourism and Social Impact	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Impact	6. 最初と最後の頁 40-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21820/23987073.2022.5.40	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大江靖雄	4. 巻 10(9)
2. 論文標題 生活様式の変化を好機ととらえ農村活性化を目指す - マイクロ・ツーリズムとワーケーションへの意識調査から -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 JATAFF ジャーナル	6. 最初と最後の頁 25-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Stephen Pratt, Alminda Magbalot-Fernandez, and Yasuo Ohe	4. 巻 24(4)
2. 論文標題 Motivations and constraints of developing agritourism under the challenges of climate change: The case of Samoa	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Tourism Research	6. 最初と最後の頁 610-622
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/jtr.2525	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 石田貴士・大江靖雄	4. 巻 94(1)
2. 論文標題 乳業メーカーによる食育活動の意識と課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 農業経済研究	6. 最初と最後の頁 31-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11472/nokei.94.31	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 野々村 圭造・大江 靖雄	4. 巻 93(4)
2. 論文標題 殖産政策における耕地整理法の制定	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 農業経済研究	6. 最初と最後の頁 346-366
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11472/nokei.93.349	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuo Ohe	4. 巻 28(2)
2. 論文標題 Investigating farmer's identity and efficiency of tourism-oriented farm diversification	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Tourism Economics	6. 最初と最後の頁 535-558
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1354816620980185	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 岡田将利・大江靖雄	4. 巻 59(4)
2. 論文標題 農林水産業を対象としたクラウドファンディングの達成要因	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 農業経営研究	6. 最初と最後の頁 45-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11300/fmsj.59.4_45	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 赤松香苗・大江靖雄	4. 巻 16・17
2. 論文標題 産業観光に対する認知度と需要標的層 - 北九州市を対象として -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 総合観光研究	6. 最初と最後の頁 23-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50839/sogokanko.16.17.0_23	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三瓶李奈・大江靖雄	4. 巻 16・17
2. 論文標題 酒蔵ツーリズムの展開と経営者の意識	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 総合観光研究	6. 最初と最後の頁 29-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50839/sogokanko.16.17.0_29	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 雷 亦可・大江靖雄	4. 巻 56(3)
2. 論文標題 有機食材を用いた飲食店の経営行動と意識	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 農業経営研究	6. 最初と最後の頁 68-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11300/fmsj.56.3_68	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大江靖雄	4. 巻 37(1)
2. 論文標題 農村ツーリズムと女性—経営政策の視点から—	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 29-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2750/arp.37.29	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 松井詩央里・大江靖雄	4. 巻 59(2)
2. 論文標題 こども食堂運営者の意識とその満足度	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 農業経営研究	6. 最初と最後の頁 13-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11300/fmsj.59.2_13	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 武田 史織・大江 靖雄	4. 巻 57(2)
2. 論文標題 都市型マルシェ出品者の売上満足度とその要因	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 農林業問題研究	6. 最初と最後の頁 77-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7310/arfe.57.77	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 田中愛・大江靖雄	4. 巻 59(2)
2. 論文標題 宿泊予約サイト(OTA)における農泊価格の決定要因	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 農業経営研究	6. 最初と最後の頁 19-24
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.11300/fmsj.59.2_19	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Noriko Akita and Yasuo Ohe	4. 巻 12(8)
2. 論文標題 Sustainable Forest Management Evaluation Using Carbon Credits: From Production to Environmental Forests	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Forest	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/f12081016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大江靖雄	4. 巻 20
2. 論文標題 コロナ禍がもたらした新たな日常における農村観光の展開方向をさぐる マイクロ・ツーリズムとワーケーションへの意識調査から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 総合観光研究	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.50839/sogokanko.20.0_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 広野豊・大江靖雄・青山浩子	4. 巻 63
2. 論文標題 持続可能な社会の実現に酪農が果たす役割	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 感動通信	6. 最初と最後の頁 8-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大江靖雄	4. 巻 2021(7)
2. 論文標題 変化する生活様式、地方は新たな市場	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 AFC フォーラム	6. 最初と最後の頁 3-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大江靖雄	4. 巻 829
2. 論文標題 ニューノーマルにおける都市農業の経営変革	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 大阪農業時報	6. 最初と最後の頁 8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 室井椋太郎・大江靖雄	4. 巻 58(2)
2. 論文標題 水産物直売所の来訪者における回遊と購買行動 千葉県銚子市を対象として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農業経営研究	6. 最初と最後の頁 59-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11300/fmsj.58.2_59	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石田貴士・大江靖雄・櫻井清一	4. 巻 92(1)
2. 論文標題 食品企業従業員の食育活動への参加満足度の決定要因 マヨネーズ教室に参加した従業員に対するアンケート調査より	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 農業経済研究	6. 最初と最後の頁 52-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11472/nokei.92.52	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shohei Kurata and Yasuo Ohe	4. 巻 12(3062)
2. 論文標題 Competitive Structure of Accommodations in a Traditional Japanese Hot Springs Tourism Area	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su12073062	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kumar Bhatta, Yasuo Ohe, and Adriano Ciani	4. 巻 10(6)
2. 論文標題 Which Human Resources Are Important for Turning Agritourism Potential into Reality? SWOT Analysis in Rural Nepal	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Agriculture	6. 最初と最後の頁 1-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/agriculture10060197	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Miho Fukui and Yasuo Ohe	4. 巻 26(5)
2. 論文標題 Assessing the role of social media in tourism recovery in tsunami-hit coastal areas in Tohoku, Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Tourism Economics	6. 最初と最後の頁 776-791
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1354816618825014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuo Ohe	4. 巻 5(2)
2. 論文標題 Exploring a way forward for rural tourism after the corona pandemic	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Global Tourism Research	6. 最初と最後の頁 105-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.37020/jgtr.5.2_105	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Noriko Akita, Yasuo Ohe, Shoko Araki, Makoto Yokohari, Toru Terada and Jay Bolthouse	4. 巻 9(9)
2. 論文標題 Managing Conflicts with Local Communities over the Introduction of Renewable Energy: The Solar-Rush Experience in Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Land	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/land9090290	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kumar Bhatta and Yasuo Ohe	4. 巻 1
2. 論文標題 A Review of Quantitative Studies in Agritourism: The Implications for Developing Countries	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Tourism and Hospitality	6. 最初と最後の頁 23-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/tourhosp1010003	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Wang Ruying, Bhatta Kumar, Ohe Yasuo	4. 巻 19
2. 論文標題 Evaluating Rural Tourism Operators' Satisfaction: Evidence from Taining, Fujian Province, China	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japanese Journal of Tourism Studies	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50839/sogokanko.19.0_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Richard T.R. Qiu, Doris Chenguang Wu, Vincent Dropsy, Sylvain Petit, Stephen Pratt, Yasuo Ohe	4. 巻 88
2. 論文標題 Visitor arrivals forecasts amid COVID-19: A perspective from the Asia and Pacific team	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Annals of Tourism Research	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.annals.2021.103155	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する



1. 著者名 Bhatta, K.P. and Ohe, Y.	4. 巻 19(2)
2. 論文標題 Farmers' willingness to establish community based agritourism: evidence from Phikuri village, Nepal	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Tourism Sciences	6. 最初と最後の頁 128-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15980634.2019.1621536	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yano Y., Kato, E., Ohe, Y. and Blandford, D.	4. 巻 34(2)
2. 論文標題 Examining the opinions of potential consumers about plant-derived cosmetics: An approach combining word association, co-occurrence network, and multivariate probit analysis	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Sensory Studies	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/joss.12484	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kato, E., Yano Y. and Ohe, Y.	4. 巻 11(17)4516
2. 論文標題 Investigating Gaps in Perception of Wildlife between Urban and Rural Inhabitants: Empirical Evidence from Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su11174516	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukui, M. and Ohe, Y.	4. 巻 -
2. 論文標題 Assessing the role of social media in tourism recovery in tsunami-hit coastal areas in Tohoku, Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Tourism Economics	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/1354816618825014	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 河原崎滉一郎・大江靖雄	4. 巻 18
2. 論文標題 若年層中国人による北海道産銘菓に関するオンライン購買行動とその要因	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 総合観光研究	6. 最初と最後の頁 14-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50839/sogokanko.18.0_14	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村莉久・大江靖雄	4. 巻 55(3)
2. 論文標題 「道の駅」の経営効率性分析 群馬県を対象として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 農林業問題研究	6. 最初と最後の頁 167-173.
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7310/arfe.55.167	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 三津山京・大江靖雄	4. 巻 18
2. 論文標題 茶販売事業者の6次産業化に向けた多角的事業展開への意識と要因 静岡県を対象として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 総合観光研究	6. 最初と最後の頁 20-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50839/sogokanko.18.0_20	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 栗原伸一・柴田浩文・加藤恵里	4. 巻 91 巻 2 号
2. 論文標題 北海道酪農経営の離脱要因分析 2010・2015年農業センサス個票からの接近	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 農業経済研究	6. 最初と最後の頁 275-280
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11472/nokei.91.275	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大江靖雄	4. 巻 2019
2. 論文標題 農村インバウンド観光に必要なもの	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 農産物流通技術	6. 最初と最後の頁 11-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 奥本夏実・大江靖雄	4. 巻 60
2. 論文標題 米ギフトの購入頻度とその要因	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本観光学会誌	6. 最初と最後の頁 39-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.51059/nihonkanko.60.0_39	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小嶋悠太郎・大江靖雄	4. 巻 18
2. 論文標題 北海道における稲作農業法人の6次産業化 - ネット直販による米の価格決定要因 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 総合観光研究	6. 最初と最後の頁 25-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50839/sogokanko.18.0_25	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bhatta, K.P., Itagaki, K. and Ohe, Y.	4. 巻 4(21)
2. 論文標題 Determinant Factors of Farmers' Willingness to Start Agritourism in Rural Nepal	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Open Agriculture	6. 最初と最後の頁 431-445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1515/opag-2019-0043	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計92件（うち招待講演 20件 / うち国際学会 41件）

1. 発表者名 Shinekhuu Battur and Yasuo Ohe
2. 発表標題 A Comparative Study of Miyazaki, Sendai, and Kobe Wagyu Restaurants by Text Mining
3. 学会等名 日本観光学会第117回全国大会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 片山達貴・大江靖雄
2. 発表標題 ポストコロナ期における訪日外国人旅行者の農泊選好と特性 オーバーツーリズムの解消と地方誘客の観点から
3. 学会等名 日本観光学会第117回全国大会
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Takaya Hirayama and Yasuo Ohe
2. 発表標題 Wage Determinant Factors for Nominally Paid Farm Work Tourists: An Emerging Type of Rural Tourism in The Face of Labour Shortage in Rural Japan
3. 学会等名 9th Conference of The International Association for Tourism Economics (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Issa Abrahaman Kachenje and Yasuo Ohe
2. 発表標題 Assessing Locals' Perceptions on the Environmental, Economic, and Socio-Cultural Impacts of Agritourism Versus Conventional Farming in Tanzania
3. 学会等名 The 15th International Conference on Environmental and Rural Development (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Hanna D. Miranda-Quibot and Yasuo Ohe
2. 発表標題 Factors Influencing the Accounting for Biological Assets: The Case of Selected Agritourism Farms in the Philippines
3. 学会等名 The 15th International Conference on Environmental and Rural Development (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 橋本仰未・大江靖雄
2. 発表標題 コロナ禍の「道の駅」入込客数への影響と回復要因ー岐阜県を対象としてー
3. 学会等名 ワークショップ「観光経済学」
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 平山貴也・大江靖雄
2. 発表標題 ポラバイト・プラットフォームにおける賃金決定要因(Revised)
3. 学会等名 ワークショップ「観光経済学」
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Yasuo Ohe
2. 発表標題 History to Present: Agritourism in Japan
3. 学会等名 Agritourism in East Asian Countries, Asia Week 2023 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Bhatta, K., Ohe, Y., and Tanaka, T.
2. 発表標題 Evaluating Profitability of Rural Restaurants and Owner's Willingness for Business Extension of in Nepal
3. 学会等名 日本観光学会第116回全国大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 外池萌乃・大江靖雄
2. 発表標題 農協の経営効率とその要因分析ー総合農協と専門農協を比較してー
3. 学会等名 令和5年度日本農業経営学会研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小嶋敬典・大江靖雄
2. 発表標題 コロナ禍における農泊宿泊者数の回復要因
3. 学会等名 令和5年度日本農業経営学会研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 佐藤和憲・大江靖雄・渋谷往男・半杭真一・今井麻子
2. 発表標題 農業法人の多角化戦略と背景・契機および進出方法 - アンケート調査データによる分析 -
3. 学会等名 令和5年度日本農業経営学会研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yasuo Ohe and Adriano Ciani
2. 発表標題 Investigating the Process of Agritourism Development in Umbria, Italy: In Connection with Local Tourism Sector
3. 学会等名 72th AIAEST Conference ( 国際学会 )
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Hanna D. Miranda-Quibot and Yasuo Ohe
2. 発表標題 Factors Affecting The Efficiency of Selected Agritourism Farms in The Philippines: Application of Window DEA Model
3. 学会等名 APTA 2023 Conference ( 国際学会 )
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Issa Abrahaman Kachenje and Yasuo Ohe
2. 発表標題 Assessing the Economic Vulnerability of Conventional Farmers Versus Agritourism farmers in Tanzania: A Farm Efficiency Comparison During The Pandemic
3. 学会等名 APTA 2023 Conference ( 国際学会 )
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Hiroki Komatsu and Yasuo Ohe
2. 発表標題 Investigating Pull Factors of Skiers in Nagano, Japan: An Application of Dynamic Panel Data Model
3. 学会等名 APTA 2023 Conference ( 国際学会 )
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Hiroki Komatsu and Yasuo Ohe
2. 発表標題 Determinant Factors of Incoming Skiers in Nagano, Japan: A Dynamic Panel Data Model Approach from Supply-side Perspective
3. 学会等名 QATEM Workshop (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 松根健介・後藤田宏也・田口千恵子・齋藤真規・大江靖雄・祓川摩有・山肩洋子・倉田博史
2. 発表標題 子どもの食生活と食育に関する市民アンケート調査
3. 学会等名 第11回日本食育学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 後藤田宏也・田口千恵子・松根健介・齋藤真規・大江靖雄・祓川摩有・山肩洋子・倉田博史
2. 発表標題 食育と歯科口腔保健に関する市民アンケート調査
3. 学会等名 第11回日本食育学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yasuo Ohe and Adriano Ciani
2. 発表標題 Is Agritourism Development Competitive or Complementary to the Local Tourism Sector Evidence from Umbria, Italy
3. 学会等名 The 11th ASAE International Conference (国際学会)
4. 発表年 2023年



1. 発表者名 堀越聡太・大江靖雄
2. 発表標題 観光地視点の コンテンツリズムの効果 -埼玉県秩父市を参考にして-
3. 学会等名 2022 年度日本観光学会関東支部会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 平山貴也・大江靖雄
2. 発表標題 ポラバイト旅行プラットフォームにおける賃金決定要因
3. 学会等名 2022 年度日本観光学会関東支部会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小松大貴・大江靖雄
2. 発表標題 長野県スキー客数の決定要因分析-DPDモデルを適用して-
3. 学会等名 2022年度観光経済研究会第2回研究報告会・日本観光学会中部支部大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Yasuo Ohe
2. 発表標題 EVALUATING TOURISM EFFICIENCY IN JAPAN: Ryokan and educational dairy farms
3. 学会等名 Master2 Seminar at University of Perpignan Via Domitia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山田大夢・大江靖雄
2. 発表標題 コロナ禍におけるネット直販農家の満足度とその要因 太平洋沿岸東北4県・関東2県を対象として
3. 学会等名 第72回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 片山達貴・大江靖雄
2. 発表標題 農家レストラン名称の東西比較分析
3. 学会等名 第72回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 齋藤孝太郎・大江靖雄
2. 発表標題 コロナ禍による酒蔵の経営対応と影響評価
3. 学会等名 令和4年度日本農業経営学会研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 多賀文吾・大江靖雄
2. 発表標題 フェアトレード製品の購買行動とその要因
3. 学会等名 令和4年度日本農業経営学会研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yasuo Ohe
2. 発表標題 Investigating Opportunities for Rural Tourism under the New Normal
3. 学会等名 71th AIEST Conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yasuo Ohe
2. 発表標題 n the New Potentials of Rural Tourism under the New Normal: Micro-tourism and Workcation
3. 学会等名 APTA Conference 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yasuo Ohe and Adriano Ciani
2. 発表標題 Evaluating Agritourism Development in Connection with the Local Tourism Sector in Umbria, Italy: Competition or Complement?
3. 学会等名 The 8th Conference of the International Association for Tourism Economics (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Qibin Liang, Yasuo Ohe, and Nicolas Peypoch
2. 発表標題 Efficiency of Japanese accommodation firms with heterogeneity and input complementarities
3. 学会等名 The 8th Conference of the International Association for Tourism Economics (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大江靖雄
2. 発表標題 コロナ禍における野菜農家のネット直販サイト利用とその課題 太平洋沿岸東北4県・関東2県を対象として
3. 学会等名 園芸植物育種研究所第34回園芸技術講演会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yasuo Ohe
2. 発表標題 Rural Tourism under The New Normal: New Potentials from A Japanese Perspective
3. 学会等名 10th International Conference on Sustainable Tourism（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yasuo Ohe
2. 発表標題 Educational Tourism in Agriculture: Potential and Reciprocal Benefits
3. 学会等名 International Webinar Educational Mobility and Tourism（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Richard T. R. Qiu, Doris C. Wu, Vincent Dropsy, Sylvain Petit, Stephen Pratt, Yasuo Ohe
2. 発表標題 Visitor Arrival Forecasts amid COVID-19: A perspective from the Asia and Pacific team
3. 学会等名 IATE Webinar: Tourism Forecasting Competition amid COVID-19（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yasuo Ohe
2. 発表標題 Effetti dell' agriturismo sul patrimonio rurale e sulle persone
3. 学会等名 SEMINARIO DI STUDIO: IL MANAGEMENT AZIENDALE E TERRITORIALE NEGLI STUDI ECONOMICO-ESTIMATIVI In memoria del Prof. Adriano Ciani (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yasuo Ohe and Adriano Ciani
2. 発表標題 Competition or Complement? Evaluating Agritourism Development in Connection with the Local Tourism Sector in Umbria, Italy
3. 学会等名 APTA 2021 On-line Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大江靖雄
2. 発表標題 イタリア・アグリツーリズムの普及過程とオーバーシュート効果 - ウンブリア州を対象として -
3. 学会等名 日本観光学会第114回全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Aki Kudo, Kumar Bhatta and Yasuo Ohe
2. 発表標題 Japanese Apples in Taiwan as a Substitution Market: The Demand-System Analysis
3. 学会等名 The 31st Virtual International Conference of Agricultural Economists (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大江靖雄
2. 発表標題 食と農のホスピタリティ・ビジネスとネットマーケティングー新たな農村の価値創造に向けてー
3. 学会等名 農林水産省都市農村交流課勉強会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大江靖雄
2. 発表標題 第71回地域農林経済学会大会シンポジウムコメンテーター・コメント2
3. 学会等名 第71回地域農林経済学会大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yasuo Ohe
2. 発表標題 Educational Tourism in Agriculture: Potential and Reciprocal Benefits
3. 学会等名 International Webinar Educational Mobility and Tourism（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 片山達貴・大江靖雄
2. 発表標題 農家レストラン名称の東西比較分析
3. 学会等名 第38回総合観光学会全国学術研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大江靖雄
2. 発表標題 学会誌のライフサイクルからみる「総合観光研究」誌の到達点
3. 学会等名 第38回総合観光学会全国学術研究大会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yasuo Ohe
2. 発表標題 Evaluating Tourism Efficiency in JAPAN: Ryokan and Educational Dairy Farms
3. 学会等名 Seminar at University of Perpignan Via Domitia（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 宮川薫・大江靖雄
2. 発表標題 農泊におけるOTA利用者の評価分析
3. 学会等名 日本観光学会中部支部大会・観光経済経営研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ruying Wang, Kumr Bhatta, and Yasuo Ohe
2. 発表標題 What satisfies rural tourism operators in rural China? A case of Taining county
3. 学会等名 ORGANIZACJA I ZAGOSPODAROWANIE CZASU WOLNEGO OD PRACY W TURYSTYCE ZDROWOTNEJ NA WSI（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yasuo Ohe
2. 発表標題 Exploring New Trend of Rural Tourism: Insights and Implications
3. 学会等名 The 2020 International Seminar 'The City of New Civilization, Saemangeum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高橋知笑・大江靖雄
2. 発表標題 フードバンク運営者の満足度決定要因
3. 学会等名 第70回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 武田史織・大江靖雄
2. 発表標題 都市型マルシェ出品者の売上満足度とその要因
3. 学会等名 第70回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kumar Bhatta and Yasuo Ohe
2. 発表標題 Females in Agritourism: Exploring Best Jobs
3. 学会等名 The 2nd NRN Global Knowledge Convention (国際学会)
4. 発表年 2020年



1. 発表者名 大江靖雄
2. 発表標題 コロナ禍がもたらす農村観光の展開方向－ワーケーションとマイクロ・ツーリズムへの意識調査から－
3. 学会等名 第37回総合観光学会大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ruying Wang, Kumar Bhatta, and Yasuo Ohe
2. 発表標題 Evaluating Rural Tourism Operator 's Satisfaction: Evidence from Taining, Fujian Province, China
3. 学会等名 37th Annual Conference of The Japan Society for Interdisciplinary Tourism Studies
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石田貴士・大江靖雄
2. 発表標題 乳業メーカーによる食育活動の意識と課題
3. 学会等名 2021年度日本農業経済学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yasuo Ohe
2. 発表標題 Exploring New Trend of Rural Tourism: Insights and Implications
3. 学会等名 The 2020 International Seminar 'The City of New Civilization, Saemangeum (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大江靖雄
2. 発表標題 我が国農村ツーリズムの可能性と課題について
3. 学会等名 2019年度新たな知と方法を生む土日集中セミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大江靖雄
2. 発表標題 イタリア・アグリツーリズムの特徴と制度的枠組み
3. 学会等名 アグリツーリズム / アルベルゴディフーズ勉強会第1回（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大江靖雄
2. 発表標題 北海道における農泊取組の可能性と課題について
3. 学会等名 農たび・北海道ネットワーク研修会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kumar Bhatta and Yasuo Ohe
2. 発表標題 Quantitative Methods Applied in Agritourism Research: A Review
3. 学会等名 2019 年度第 2 回観光経済経営研究会ワークショップ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 王如穎・大江靖雄
2. 発表標題 中国における農家兼経営者の満足度評価 福建省泰寧県を対象として
3. 学会等名 2019 年度第 2 回観光経済経営研究会ワークショップ
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohe, Y. and Kurata, S,
2. 発表標題 Competitive Structure of Onsen (Hot Springs) Tourism Area: A Spatial Econometric Evaluation
3. 学会等名 The 2nd Global Congress of Special Interest Tourism and Hospitality (Glosith), Taiwan (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河原崎滉一郎・大江靖雄
2. 発表標題 北海道産銘菓に関する海外からの オンライン購買行動と訪日経験 - 若年層中国人を対象として -
3. 学会等名 総合観光学会 第35回 全国学術研究大会、名古屋
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohe, Y.
2. 発表標題 New Policy Framework on Rural Tourism in Japan: Features and Challenges
3. 学会等名 Asia Pacific Tourism Association 2019 Conference, Danang, Vietnam (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Bhatta, K., Ohe, Y., Ciani, A., Itagaki, K.
2. 発表標題 Investigating triggers for agritourism development in rural communities: evidence from Nepal
3. 学会等名 2019年度地域農林経済学会国際化担当・近畿支部 共催ワークショップ, 大阪
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohe, Y.
2. 発表標題 Issues of farmer ' s identity and efficiency of tourism-oriented diversification: Revised from a perspective of behavioural economics
3. 学会等名 69th AIEST Conference, Varna, Bulgaria ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohe, Y.
2. 発表標題 Does Operator ' s Identity Make A Difference in Efficiency in Dairy Farms Performing Educational Tourism? A Slacks-based Measure DEA Approach
3. 学会等名 7th Conference of the International Association for Tourism Economics, La Plata, Argentina ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Liang, Q.B., Ohe, Y. and Peypoch, N.
2. 発表標題 Productivity Measurement of Japanese Accommodation Firms with Input Complementarities
3. 学会等名 7th Conference of the International Association for Tourism Economics, La Plata, Argentina ( 国際学会 )
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohe, Y.
2. 発表標題 On the sustainable development of agri-tourism: Lessons from 25 years of comparative study between Japan and Italy
3. 学会等名 Giornata Mondiale Del Turismo, Montecastrilli, Italy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohe, Y.
2. 発表標題 Current Issues of Food and Rural Tourism in Japan
3. 学会等名 Giornata Mondiale Del Turismo, Montecastrilli, Italy (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 室井 稜太郎・大江 靖雄
2. 発表標題 水産物直売所の来訪者における回遊と購買行動 千葉県銚子市を対象として
3. 学会等名 2019年度日本農業経営学会研究大会報告要旨、仙台、東北大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松井 詩織・大江 靖雄
2. 発表標題 こども食堂運営者の意識と満足度 - 千葉県都市部を対象として -
3. 学会等名 第69回地域農林経済学会大会個別報告、豊橋、愛知大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 三津山京・大江靖雄
2. 発表標題 茶販売事業者の6次産業化に向けた多角的事業展開への意識と要因 - 静岡県を対象として -
3. 学会等名 総合観光学会第36回全国学術研究大会, 東京、拓殖大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Bhatta, K. and Ohe, Y.
2. 発表標題 Quantitative Methods Applied in Agritourism Research: A Review
3. 学会等名 愛知大学経営学会ワークショップ、名古屋、愛知大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 王如穎・大江靖雄
2. 発表標題 中国における農家業経営者の満足度評価 福建省泰寧県を対象として
3. 学会等名 愛知大学経営学会ワークショップ、名古屋、愛知大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohe, Y. and Kurata, S.
2. 発表標題 Competitive Structure of Onsen (Hot Springs) Tourism Area: A Spatial Econometric Evaluation
3. 学会等名 The 2nd Global Congress of Special Interest Tourism and Hospitality (Glosith), Taiwan (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Bhatta, K., Ohe, Y., Ciani, A., and Itagaki, K.
2. 発表標題 Exploring Agritourism Development Strategies in Nepal: A SWOT Approach
3. 学会等名 The 2nd Global Congress of Special Interest Tourism and Hospitality (Glosith), Taiwan (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小嶋悠太郎・大江靖雄
2. 発表標題 北海道大規模稲作農業法人の6次産業化 - 農業法人のネット直販価格の要因分析 -
3. 学会等名 総合観光学会第36回全国学術研究大会, 東京、拓殖大学
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohe, Y.
2. 発表標題 New Policy Framework on Rural Tourism in Japan: Features and Challenges
3. 学会等名 Asia Pacific Tourism Association 2019 Conference, Danang, Vietnam (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kumar P. Bhatta, Keishiro Itagaki, and Yasuo Ohe
2. 発表標題 Determinant Factors on Farmers' Willingness to Start Agritourism in Rural Nepal :an application of multivariate probit model
3. 学会等名 2018 Annual Conference of the Agricultural Economics Society of Japan
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Miho Fukui and Yasuo Ohe
2. 発表標題 Assessing the Role of Social Media on Tourism Recovery in Tsunami Hit Coastal Areas in Tohoku, JAPAN
3. 学会等名 6th QATEM Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kumar Prasad Bhatta・大江靖雄
2. 発表標題 Evaluating farmer's willingness to launch community-based agritourism: case of Nepalese village
3. 学会等名 2018年度日本観光学会関東支部会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村莉久・大江靖雄
2. 発表標題 道の駅の経営効率性分析 - 群馬県を対象として -
3. 学会等名 第68回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kumar Bhatta and Yasuo Ohe
2. 発表標題 A supply side investigation of community-based agritourism development in Nepal: An application of ordered logit for farmers opinions
3. 学会等名 第68回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 河原崎滉一郎・大江靖雄
2. 発表標題 若年層中国人の北海道産銘菓に関するオンライン購買行動と訪日経験
3. 学会等名 第68回地域農林経済学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuo Ohe
2. 発表標題 A New Policy Framework Called “Nagisa-haku” Fishing-village Stay Program in Japan: Aims and Challenges
3. 学会等名 Jeolla International Tourism Conference 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 奥本夏実・大江靖雄
2. 発表標題 米ギフトの購入頻度とその要因
3. 学会等名 日本観光学会第112回全国大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大江靖雄
2. 発表標題 企業による食育のすそ野拡大の意義と課題 - 我が国と欧州3ヶ国からのエビデンス -
3. 学会等名 企業による食育と食事補助に関する昼食勉強会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大江靖雄
2. 発表標題 酪農教育ファームにみる多角化と経営効率性の関連性 DEAによる接近
3. 学会等名 2019年度日本農業経済学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 八尾 奮・大江 靖雄・加藤 恵里
2. 発表標題 首都圏における飲食店におけるジビエ料理の価格決定要因
3. 学会等名 八尾 奮・大江 靖雄・加藤 恵里
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kumar Bhatta, Yasuo Ohe, Adriano Clani and Keishiro Itagaki
2. 発表標題 Investigating triggers for agritourism development in rural communities: evidence from Nepal
3. 学会等名 2019 International Workshop on Agricultural and Resource Economics (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kumar Bhatta, Yasuo Ohe, Adriano Clani and Keishiro Itagaki
2. 発表標題 Investigating triggers for agritourism development in rural communities: evidence from Nepal
3. 学会等名 2019 International Workshop on Agricultural and Resource Economics (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 大江靖雄	4. 発行年 2022年
2. 出版社 中央法規	5. 総ページ数 309
3. 書名 持続可能な酪農 - SDGs への貢献 - (木村純子・中村丁次編著)	

1. 著者名 Yasuo Ohe	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 329
3. 書名 Community-based Rural Tourism and Entrepreneurship: A Microeconomic Approach	

1. 著者名 Miriam Scaglione, Yasuo Ohe, and Colin Johnson	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 581
3. 書名 Information and Communication Technologies in Tourism 2021	

1. 著者名 Yasuo Ohe	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 1500
3. 書名 Encyclopedia of Tourism, Living Edition (J. Jafari and H. Xiao eds.)	

1. 著者名 Yasuo Ohe	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 333
3. 書名 Community-based Rural Tourism and Entrepreneurship: A Microeconomic Approach	

1. 著者名 大江靖雄	4. 発行年 2019年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 464
3. 書名 観光の事典	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>東京農業大学 教員紹介 大江靖雄  <a href="http://dbs.nodai.ac.jp/view?l=ja&amp;u=100001364&amp;k=%E5%A4%A7%E6%B1%9F%E9%9D%96%E9%9B%84&amp;kc=1&amp;sm=keyword&amp;sl=ja&amp;sp=1">http://dbs.nodai.ac.jp/view?l=ja&amp;u=100001364&amp;k=%E5%A4%A7%E6%B1%9F%E9%9D%96%E9%9B%84&amp;kc=1&amp;sm=keyword&amp;sl=ja&amp;sp=1</a>  ResearchGate Yasuo Ohe  <a href="https://www.researchgate.net/profile/Yasuo-Ohe">https://www.researchgate.net/profile/Yasuo-Ohe</a>  google Scholar Yasuo Ohe  <a href="https://scholar.google.co.jp/citations?view_op=search_authors&amp;mauthors=Yasuo+Ohe&amp;hl=ja&amp;oi=ao">https://scholar.google.co.jp/citations?view_op=search_authors&amp;mauthors=Yasuo+Ohe&amp;hl=ja&amp;oi=ao</a>  大江靖雄  <a href="http://dbs.nodai.ac.jp/view?l=ja&amp;u=100001364&amp;k=%E5%A4%A7%E6%B1%9F%E9%9D%96%E9%9B%84&amp;kc=1&amp;sm=keyword&amp;sl=ja&amp;sp=1">http://dbs.nodai.ac.jp/view?l=ja&amp;u=100001364&amp;k=%E5%A4%A7%E6%B1%9F%E9%9D%96%E9%9B%84&amp;kc=1&amp;sm=keyword&amp;sl=ja&amp;sp=1</a></p>
---

6. 研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	加藤 恵里  (Kato Eri)  (20728258)	滋賀県立大学・環境科学部・講師    (24201)	

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	宮崎 良文  (Miyazki Yoshifumi)  (40126256)	千葉大学・環境健康フィールド科学センター・特任研究員   (12501)	
研究分担者	霜浦 森平  (Shimoura Shinpei)  (40372354)	高知大学・教育研究部総合科学系地域協働教育学部門・教授   (16401)	
研究分担者	矢野 佑樹  (Yano Yuki)  (40618485)	千葉大学・大学院園芸学研究院・講師   (12501)	
研究分担者	小口 孝司  (Oguchi Takashi)  (70221851)	立教大学・現代心理学部・教授   (32686)	
研究分担者	西山 未真  (Nishiyama Mima)  (70323392)	宇都宮大学・農学部・教授   (12201)	
研究分担者	齋藤 勝宏  (Saito Katsuhiro)  (80225698)	東京大学・大学院農学生命科学研究科（農学部）・教授   (12601)	
研究分担者	栗原 伸一  (Kurihara Shinichi)  (80292671)	千葉大学・大学院園芸学研究院・教授   (12501)	
研究分担者	池井 晴美  (Ikei Harumi)  (90760520)	千葉大学・環境健康フィールド科学センター・特任助教   (12501)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	宋 チョロン  (Song Chorong)  (90768714)	千葉大学・環境健康フィールド科学センター・特任助教    (12501)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関